

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立田上小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

国語・算数、両教科ともに正答率が全国平均や県平均を下回ったものが多く、本校の学力面の課題が見られる。特に、国語の「書くこと的能力」に関する問題、算数の「図形」に関する問題では、正答率が低くなっていた。また、無解答率が全国平均や県平均を上回り、学習に対して粘り強く取り組む姿勢に課題が見られる。

質問紙の回答に関しては、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」が全国平均を上回っていた。しかし、自尊感情に関する質問に課題が見られる。

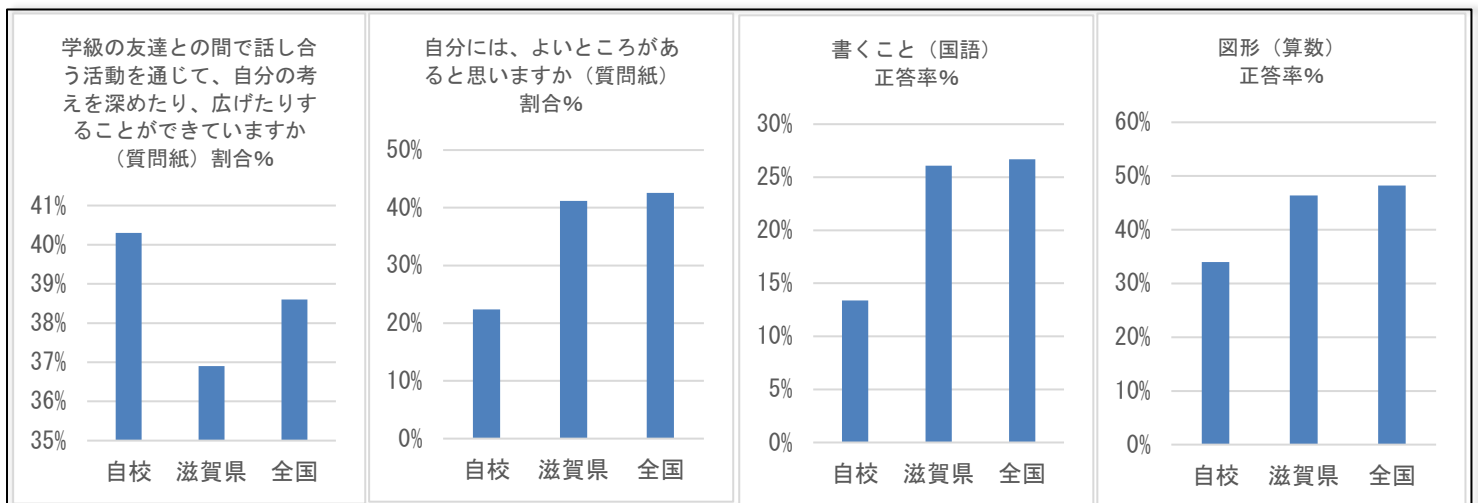
《強み・弱み》

本校の強みは、今まで力を入れて取り組んできた「ICT 機器の使い方のマナー」や、「友達と協力すること」を示す数値が全国(県)平均を上回っていることである。ペア・グループ活動による学び合いの充実により、友達同士で教え合ったり、考えを深めたりする活動への意欲が高まっていると言える。

本校の弱みとしては、特に国語では、「書くこと」算数では、「図形についての技能」と言える。また、無解答率が高い点に関しては、学習意欲の低下が関係していると考えられる。そのため、「できた・わかった」という楽しみながら学び自己効力感が高まるような「基礎基本の定着」と、学びの振り返りによる「成長実感」という点を意識して授業を行っていくようにする。

◇強み・弱みを表す資料◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは全国平均や滋賀県平均と、本校の結果の比較に基づいて作成しました。

【指導の充実に向けて】

- 今回の学力・学習状況調査の結果を受けて「学ぶ力を高める部会」を中心に分析を進めている。本校の児童の実態に合わせて、学ぶことへの楽しさを感じられるような指導の工夫を模索している。それと同時に、実生活に生かすことができる力をつけ、社会に通用する人材の育成を目指している。
- ペア学習やグループ学習を積極的に授業に取り入れ、コミュニケーション能力の向上だけでなく、友達とのよりよい関わり方を学ぶ機会とし、学級への所属感・安心感・支持的雰囲気を高めることを目指している。
- 授業の終わりに5分間の振り返りを設定している。授業のめあてを始めにしっかり設定し、授業の終わりにはそのめあてがどのように達成できたかを振り返り、成長実感が得られる授業スタイルが定着している。
- 意欲を持って進んで学習できる子ども集団の育成をめざして、自主学習の取り組みを進めている。
- 今後も家庭との連携を密にし、児童の基本的な生活習慣の確立に努める。